

城南地区の高い技術力

世田谷区



世田谷区には医療の裾野産業の独自製品を手がける中小企業がある。山元オブラート(世田谷区)は、粉薬や錠剤などの飲み薬を口からスミーズに胃の中に運び込む薬用オブラートを製造、販売している。

オブラートはキャラメルやゼリーといったお菓子の包み紙として使われている。円形もしくは袋状になったオブラートに薬を包み水に浸すと、水を吸ったオブラートがゲル状に変化する。薬を内

医療支える独自製品

長年のノウハウ生かす

包したゲル状のオブラートは、のどや気管支などに貼り付かないため、違和感なくのどを通り胃に届く。水に浸したオブラートは1分程度は破れず、すぐに飲み込めば薬特有の苦味や臭いなどを感ずることもない。60歳以上の老人に主に使われており、1号50・200枚で、年間500万個程度売れている。

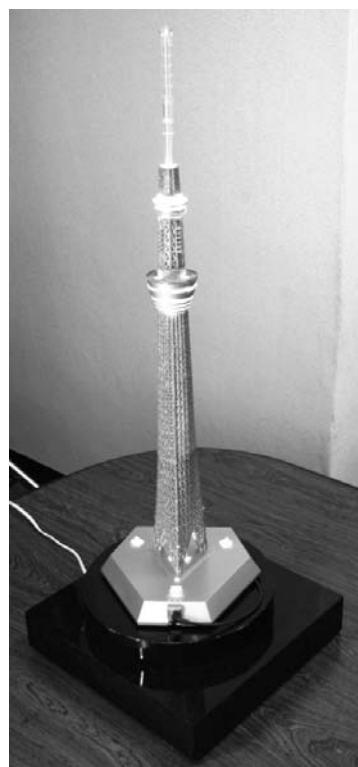
これらオブラートに飲み薬を飲ませる用途で使われてケースもある。犬や猫などのペットに飲ませるために、大石義肢製作所では患者の体にはめて固定するソケット

義肢の重要部分であるソケットを患者の体に合うよう削る(大石義肢製作所)

ユニークな製品提供

血液輸送バッグなど開発

荏原(目黒区)は、容器内部の温度を一定に保ち、温度管理が厳しい血液の輸送に使えるバッグ「エバップ」を開発、販売している。血液成分とともに容器に水やドライアイスを入れて運ぶのだが、このとき22度Cの温度精度が求められる。このバッグは、家の断熱材に使われているプラスチック系断熱材を用いたバッグを軽く丈夫にし、高い断熱効果が得られる真空断熱材を利用する場合と比べ10分の1程度のコストに抑えられた。日本赤十字社に累計3300個納品した実績



自社技術を活用して制作した人工ダイヤで覆われた1000分の1サイズの東京スカイツリーの模型(東京ダイヤモンド工具製作所)

南東京特集

品川区



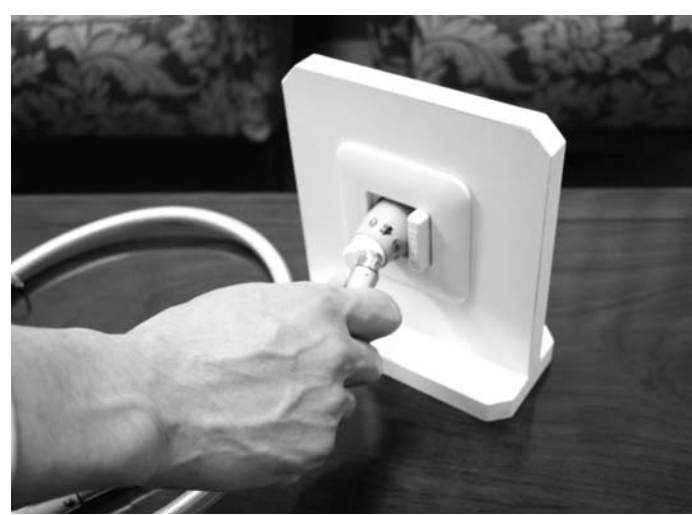
無重量状態を再現できる「新式球体浮上装置」(小野電機製作所)

宇宙関連分野で活躍 ガス器具普及に一役

宇宙空間のような無重量に近い状態にできる。この装置を人工衛星の姿勢制御装置の1部品として実用化を目指している。小野電機製作所社長は「ヤスリがけなどに代った職人、最先端の工作機械、

優れた設計者の三つの要素が宇宙探査の最先端技術を支えている」と胸を張る。「メイド・イン・品川」や展示会などを通して我々の技術をアピールしたい(小野社長)と語っている。

光陽産業(品川区)は、ガスバルブの製造、販売を手がけ、ガス関連の製品が売り上げの70%以上を占める。11年3月の東日本大震災以降、オール電化など電力一辺倒だ



電気のコネクタのように簡単に取り付けられるガスコネクタ(光陽産業)を、11年には二子ボウ(品川区)と共同で、消防訓練用の消火訓練装置を開発した。水で満たした水槽内に設置した穴があいたパイプからフロバングが噴き出し、これに火をつけ水槽の上でガスを燃やせる仕組みだ。リアリティーのある火事の現場を再現でき、水の上で燃やすので安全性も高い(同)という。今後メイド・イン・品川を通して新しい連携が生まれるかもしれない。

ウェブで企業情報発信

一般向け、連携の糸口にも

東京商工会議所品川支部は2011年に品川区のモノづくり企業を紹介するウェブサイトを「メイド・イン・品川」を開設し、同区内のモノづくり企業の情報を発信している。一般向けに事業内容を分かりやすく紹介し、「近所の企業は何をしているのか?」といった地域住民の疑問に答え、理解を得ることを目的とし

は10年に宇宙航空研究開発機構(JAXA)が打ち上げた小型ソーラ電力セイル実証機「イカロス」における展開機構の製作機などの製作について、また07年には「新式球体浮上装置」をJAXA

XAと共同開発。この装置はくぼみに球体をのせ、下から空気を送り込むことで無重量状態を再現する。ゲームセンターにあるエアホッケーのように球が浮き上がるため、抵抗なく球が回り、

東京産学交流会入会のご案内

◆ご案内◆

ビジネスチャンスの拡大と技術のレベルアップのために入会をお勧めします!!

東京産学交流会(通称:サザンクロス)は、南東京地域の中堅・中小企業18社と、芝浦工業大学、東京都市大学、東京都立産業技術高等専門学校で組織された産学交流組織で、会長を渡邊佳英大崎電気工業会長が務めています。

93年にSIT産学交流組織として発足。「第二の創業」をコンセプトに、南東京地域の産業を盛り上げるため、産学交流に着目した活動を続けています。

月に1回、ビジネスチャンス拡大のために、講演会や工場見学会などの定例会を実施しています。異業種、異分野同士で交流を進め、モノづくりへの理解を深めていきます。

産学交流を推進して会員企業の技術レベルを上げ、地域産業の発展に寄与する事を目指しています。

◆入会の手続き◆

経営者の皆様をはじめ、理工系大学や自治体の方々が自由に集まり、親睦を深める東京産学交流会にぜひ、ご入会ください。

お申し込みは下記の事務局へお願いします。

年会費 76,000円



東京産学交流会 事務局

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-46-1 秋元ビル4階

日刊工業新聞社 南東京支局内

TEL 03(3732)5451 FAX 03(3732)5453



第一線研究者による成果発表会やセミナー、懇親会などを通じ、最新技術の動向にふれることができる